

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おーじやん緑が丘			
○保護者評価実施期間	2024年12月10日 ～ 2024年12月25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37 名	(回答者数)	26世帯
○従業者評価実施期間	年 月 日 ～ 年 月 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 名	(回答者数)	5 名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月29日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	選択の機会を中心に、本人中心支援を徹底している	事業所の活動での様々な場面で、児童の選択による意思の表明を尊重している	引き続き、より選択しやすい環境や意思を表出しやすい環境の実現に向けて、特性理解を深める
2	児童の特性や置かれている環境に対する理解の深さ	毎週のミーティングや担任制により、複数人で児童の特性を深める取り組みを行っている。また、事業所内でスケールや簡易検査を用いて特性理解を深めることができる。	これまでの取り組みに加え、支援員の技術向上に向けた研修や人事評価を行っていく。
3	徹底した視覚支援により、児童の理解が進むような環境設定を行っている	児童の理解度や発達段階に応じてわかりやすく視覚提示できる工夫を随所に設けている	引き続き、児童の特性や発達に応じたよりわかりやすい表示の徹底を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者との面談や交流会などの家族支援	職員の家族支援に関する専門的知見のが十分ではない。 面談や交流会を統括できる職員の不足。	研修や自己研鑽による家族支援に対する専門性を高めるための取り組みが必要。
2	家族との交流を含むイベントの実施	イベントを企画する職員の人員不足や、安心安全に行うだけの体制が不足している。	研修や自己研鑽による家族支援に対する専門性を高めるための取り組みが必要。
3	関係機関との連携や地域の児童との交流	関係機関と連携する場所や機会が持てていない。 また、そういったイベントを企画するだけの体制が不足している。	研修や自己研鑽による家族支援に対する専門性を高めるための取り組みが必要。